

評価項目	評価指標	具体的方策 (改善策)	評価基準				
			4	3	2	1	
確かな学力の定着を図る。	学力調査(4月全国・6月基礎基本・1月海田町)等の 基礎問題 通過率 60%未満を0に近づける。	○校内研修による主体的で学びあいのできる授業改善。 ○事前学習や海小タイム・家庭学習の充実。 ○無解答0へ向けて、学習意欲の向上、学習指導の充実。	通過率 60%未満の割合	0~5% 未満	5~10% 未満	10~15% 未満	15%以上
	学力調査(4月全国・6月基礎基本・1月海田町)等の 活用問題 で平均正答率が全国、県平均とともに上回る。	○通過率30%未満の児童への個別指導の充実。 ○読書タイムの充実。	全国、県平均の正答率	3ポイント以上 上回る	上回る	下回る	3ポイント以上 下回る
	授業改善(西中学校区共通) ○解決しようとする課題について予想する。 ○自分の考えとその理由を明らかにして発表する。 県平均を上回る	○解決しようとする課題について「たぶんこうではないか」「こうすればできるのではないか」と予想させる授業 ○自分の考えとその理由を明らかにして発表させる授業	「基礎・基本」県平均	7ポイント以上 上回る	3~7ポイント未満 上回る	0~3ポイント未満 上回る	県平均を下回る
立ち止まって、挨拶ができる。	毎朝、校門で立ち止まって挨拶ができる児童80% 来校者に立ち止まって挨拶ができる児童80%	○挨拶名人シールの配布 ○挨拶名人の表彰 ○児童と担任による各月2回の振り返りタイム ○毎朝、登校時の校門指導 ○児童会による挨拶運動 ○西中学校区による挨拶運動 ○挨拶ポスターによる啓発	児童の評価を踏まえた教師による見取り	80%以上	75%以上	70%以上	70%未満
時間いっぱい黙って丁寧に掃除をすることができる。	時間いっぱい掃除をする児童90% 黙って掃除をする児童90% 丁寧に掃除をする児童90%	○掃除の手順、仕方の統一(掃除マニュアル、掃除ビデオ) ○掃除後の反省会による児童の相互評価 ○掃除場所担当者による指導評価(児童と一緒に掃除をしながら) ○キラキラタイムの設定(担当場所終了後の自主的掃除)	児童の評価を踏まえた教師による見取り	90%以上	85%以上	80%以上	80%未満
体力づくりの充実に取り組む	新体力テストの総合判定結果C以上の児童85%	○元気っこタイムの設定。 ○遊具の整備。 ○体育朝会で運動・遊びの紹介。 ○家庭での運動・遊びの奨励。	新体力テストA~C判定の児童(6月実施)	90%以上	85%以上	80%以上	80%未満
	新体力テストの結果、課題のあった種目で県平均を上回る児童70%	○体力テスト前に授業での取組。 ○校内研修による体育の授業改善。 ○新体力テストの結果県平均を下回った種目の重点的取組を行い、再測定を実施。 ○男女各種目上位3名の表彰。	課題のあった種目をもう一度測定する(11月実施)	75%以上	70%以上	60%以上	60%未満
生活リズムを整えて元気に学校へ来ることができる	一年間欠席3日以内の児童80% (※インフルエンザなど出席停止は欠席日数に含めない)	○「欠席0賞」「準欠席0賞」の取組を実施。 ○児童が生活リズムの大切さについて考える場面を実施。 ○重点課題を決めた、生活リズムカレンダーの取組を実施。 ○全児童が登校した日に放送、掲示等で児童に知らせ、児童への意欲付けを行う。 ○手洗い・窓開け・うがいなど感染症予防の取組を実施。	年間で欠席3日以内の児童80%	85%以上	80%以上	70%以上	70%未満